

47都道府県プロフィール
2023年1月～2023年6月

大分県

大分県 労働人材の受け入れでベトナムの地方政 府と覚書締結

2023年04月14日

農業や介護現場などで県内でも担い手不足が深刻化する中、大分県はベトナムの地方政府との間で、技能実習生など労働人材の受け入れを積極的に進めるための覚書を交わしました。14日、県庁で行われた締結式には、大分県とベトナム中部のクアンガイ省の関係者などおよそ20人が出席し、それぞれの代表者が労働人材の受け入れに関する覚書に署名しました。覚書では、▽クアンガイ省が技能実習生など人材の適切な送り出しを図ることや、▽県も受け入れた人材が安心して暮らせる地域づくりを推進することなどが盛り込まれています。



<https://www3.nhk.or.jp/lnews/oita/20230414/5070015550.html>

「日ごろの生活で感じたことは」 外国人が日本語 で発表 宇佐市

2023 年02 月27日

宇佐市で開かれたもので県内各地の日本語教室に通う、6か国の合わせて20人が参加しました。それぞれが3分ほどのスピーチの中で、母国との習慣の違いや日本での仕事や生活の様子についてひと言ひと言丁寧に伝えました。このうち、来日して6年目になるミャンマー人の男性は職場での夜勤で仕事を始める前に「おはようございます」、朝、仕事が終わりと、帰宅する時に「おやすみなさい」とあいさつする習慣に驚いたことを紹介しました。また、去年6月から技能実習生としてインドネシアから佐伯市に来た女性は「故郷では魚が嫌いだったが、日本に来て好きになりました」と笑顔で話していました。



うさし
がいこくじんが
そうだん するところ
宇佐市外国人総合相談センター



<https://www.sagatv.co.jp/news/archives/2022112411573>

大分県内の外国人労働者数、過去最多8383人 水際緩和や人手不足影響か

2023年02月17日

大分労働局がまとめた県内の外国人労働者数（昨年10月末時点）は8383人で、前年から1070人（14・6％）増えた。外国人が働く事業所は1834カ所で、174カ所（10・5％）増加。いずれも国への届け出が義務化された2007年以降、最多



技能実習生2人を初受け入れ（竹田商工会議所）

2022年10月15日

農業や介護現場などで県内でも担い手不足が深刻化する中、大分県はベトナムの地方政府との間で、技能実習生など労働人材の受け入れを積極的に進めるための覚書を交わしました。14日、県庁で行われた締結式には、大分県とベトナム中部のクアンガイ省の関係者などおよそ20人が出席し、それぞれの代表者が労働人材の受け入れに関する覚書に署名しました。覚書では、▽クアンガイ省が技能実習生など人材の適切な送り出しを図ることや、▽県も受け入れた人材が安心して暮らせる地域づくりを推進することなどが盛り込まれています。



<https://www3.nhk.or.jp/lnews/oita/20230414/5070015550.html>

昇給交渉した実習生に退職強要 法人と和解、大分

高齢者施設運営

2023年02月18日

大分市で介護の技能実習生として働いていた30代のフィリピン人女性が、昇給や賞与の交渉をした後、退職を強いられ帰国を余儀なくされたとして、実習先の高齢者施設を運営する社会福祉法人に対して約320万円の損害賠償を求め、大分地裁に提訴した後、和解したことが18日、分かった。和解は17日付。内容は不明だが、法人側が相当額の解決金を支払うことで合意したとみられる。女性は労働審判を大分地裁に申し立て、2022年1月から訴訟へ移行。来日の窓口となった大分市の監理団体からも実習中止の意思確認書への署名を迫られるなど圧力を受けたと主張していたが、早期解決を目指していたため、被告とはしなかった。



<https://news.yahoo.co.jp/articles/a30d1b8109f39918653235e17996551f8945841b>